

### 3. 2017 年度活動概要

教材開発研究会では、15 次プロジェクトとして「プロジェクト発信型&問題解決型 (PBL) 大学英語教材の開発」という研究テーマを掲げた活動を行いました。例会は、5 月、7 月、10 月、2 月、3 月の計 5 回、京都外国語専門学校、ウイングス京都で開催しました。

近年、文科省が推進する「アクティブ・ラーニング」等の協働学習があらゆるレベルの教育機関で行われるようになってきている中で、特に大学英語教育においていかに PBL を実践していくべきか、そしていかにそれらを効果的な大学英語教材として提示できるかを検討しました。広範な分野のテーマを扱った PBL 教材作成を目標に掲げ、現在具体的な章立て・タスク案を鋭意検討中です。

プロジェクト進行に当たり、関西学院大学の工藤多恵先生に「オモテナシ英語教材 *You're Welcome!* (Cengage) ができるまで」と題してご講演いただきました。日本文化を伝えるテキストを作成する際に工夫された点などをご教示いただき、大変好評を博しました。また、PBL 教材検討のために、関西 ESP 研究会の足立圭介先生により、「プロジェクト型学習の観点から語彙学習を見つめ直すと: 工業英語の語彙の場合」と題した研究発表をしていただき、テキストに組み込むべき語彙学習に関する有益な方法論について皆で考えを深めました。活発な質疑応答を通して、PBL 教材開発に向けて大いなるヒントを得ることができました。今後も、教材開発と並行して、講演会や研究発表も活発に行っていきたいと考えています。

夏の JACET 国際大会では、当研究会の紹介を兼ねたポスターセッションに参加させていただき、他の研究会や会員の方々とも交流を深めることができました。

来年度も継続して 15 次プロジェクトの中心である PBL 教材の開発を行い、新会員を募りながら、さらにダイナミックに活動していきたいと考えています。